子育て応援情報誌

ファミリーサポート通信

Vol.33
2024.1

登別市ファミリーサポートセンター　85－0033

～ご 挨 拶～

登別市ファミリーサポートセンター センター長　坂本 大輔

日頃よりファミリーサポートセンター（愛称「ファミサポ」）の運営にご協力いただきありがとうございます。

ファミサポは、子育てや子どもの預かりに悩み困った時に「助けて」と言えるところです。わが子の成長を一緒に喜んだり、心配してくれる人が身近にできたりすることも大きな魅力の一つです。

ファミサポでは、会員同士がおもいを寄せ合い、子どもを中心にしながらも、親も孤立させないよう活動の中でできる関わりを日々模索しながら、丁寧な支援、活動を心がけています。

子どもを預けたい方（依頼会員）、子どもを預かってくださる方（提供会員）、どちらの会員も募集しております。本年も皆さんのご参加、ご登録をお待ちしております。

2023年度

ファミリーサポートセンター講習会

「特別な支援が必要なお子さんとの関わり方」

◆講 師　大人の発達障がいの会　河上（かわかみ）　良枝（よしえ）さん ― 2023年５月19日(金)

発達障がいを持ちながら心が安定して社会の中で生活している素敵な方々との出会いから、発達障がいの子どもたちとの関わり方のヒントをお話しくださいました。特に「良い日を基準にしない」という支援のコツを聞いて、参加者の皆さんから「心が軽くなりました」「ハッとさせられました」といった感想が寄せられました。柔軟な考え方で子どもと接することが大事だと感じました。

また、河上先生から、専門職ではないファミサポさんだからこそ保護者のホットステーションであってほしいと励ましのお言葉も頂きました。今後も依頼者の皆さんに寄り添った調整、提供を心がけていきたいと思います。

「女性の健康づくり」～ママが変われば子どもも変わる～

◆講 師　ツケダ薬局店長　附田（つけだ）　綾（あや）さん ―――― 2023年７月12日(水)

漢方に詳しい知識をお持ちの附田さんをお招きし、女性の健康づくりについてお話を伺いました。子どもを健やかに育てることに熱心なあまり、自分のことはつい後回しになってしまいがちですが、まずは子育てに携わる大人が健康で元気であることが大切とのお話がありました。忙しい子育て中に完璧な健康生活を送るのはなかなか難しいと思われますが、胃腸を丈夫にするよう心がける、お腹を冷やさないようにするなど、できそうなことから始めたりポイントを押さえて意識するだけでも全く違ってくるとのお話でした。

参加された皆さん、今後の生活の目標を見出されたようで明るい表情で帰路につかれていました。

「小児救急」～事故・病気への対処と応急処置～

◆講 師　登別市消防署　職員の皆さん ―――― 2023年９月15日(金)

消防署より阿部さん、中川さん、本山さんの３名の職員の方が講師として来訪くださいました。中川さん、本山さんはファミサポの会員さんでもあるので、終始和気あいあいとした雰囲気で講習が行われました。

実技の時間では心臓マッサージや AED の操作方法に加え、今回初めて訓練用のエピペンを使用させて頂きました。「怖がらずに思い切って操作してください。」などの助言や説明を受けながら、皆さん真剣に学んでいました。

「こどものいのちを守る」～里親さんの体験談から～

◆講 師　登別市こどもショートステイ事業　委託里親　荒川（あらかわ）　倫子（みちこ）さん

2023年11月14日(火)

10年ほど前から市内鉱山町で里親の委託を始め、里子の養育に携わってこられた荒川倫子さんをお招きし、子育ての悩み解決の糸口となるエピソード満載でお話しくださいました。

「預かっている間、お子さんが心地よく過ごせるように工夫している」とのお話は、ファミサポの預かりでも改めて大事にしていきたいと感じました。

両方会員
及川奈緒さん

お子さん一人一人の様子に合わせて対応していることが素晴らしいと思いました。特に「やんちゃな子はエネルギーが高い子」との言葉は目からウロコでした。どの子の特徴もポジティブにとらえ、あたたかく見守る子育てっていいな、と思いました。荒川さんがおっしゃっていたように、「自分だったらどうしてほしいか」を考えて子育てしていきたいです。

講習会に参加して提供活動のスキルアップを目指しましょう

ファミリーサポートセンターは依頼会員と提供会員の信頼関係に基づき、大切なお子さんを預かる相互援助活動の事業です。お子さんと提供会員の活動中の安全を確保するため、提供会員に適切な知識や技術を得る講習会を開催しています。

ぜひ積極的に講習会に参加し、提供活動のスキルアップに努めましょう。

サブリーダーのご紹介

登別地区サブリーダー 木村（きむら） 園美（そのみ）

登別地区担当の木村園美です。
甘いものに目がなく、片付けと断捨離が日々の課題です。
ファミサポの活動では、いつも優しい提供者の皆さんに助けられています。お忙しい保護者の方の急なお願いも、笑顔と、きめ細やかな対応で受けてくださいます。育児の悩みにのってくださる先輩も多いです。
子育ての時期は後になって振り返ると、とても短く宝物のような時間ですが、どうしよう…と思うことも沢山。困ったときはお声がけくだされればと思います。

新生地区サブリーダー 小玉（こだま） 雅恵（まさえ）

「助かりました」「ありがとうございました」の声に支えられ、ファミリーサポートセンターに携わり20年以上が過ぎました。
その間に孫が誕生し、「ばあば」と呼ばれるようになり、預かるお子さんも我が子目線から孫目線に変化しましたが、見守る気持ちはこれからも変わりなく依頼者さんに寄り添いながら子育てのお手伝いをさせていただけたらと思います。

鷲別地区サブリーダー 駒井（こまい） 親子（ちかこ）

我が子の子育ては終わりしばらく経ちましたが、ファミサポの活動を通して長い間、世の中の子育て事情を見てきました。便利な仕組みなども増えてきましたが、まだ多様な困りごとを補うには足りないことが多いです。
困ったな、辛いな、そんな時にファミサポを思い出してもらえたらと思います。
様々なことに対応していますのでまずはご相談ください。

幌別地区サブリーダー 工藤（くどう） 香織（かおり）

両方会員として入会して11年、サブリーダーとしては9年になります。
たくさんの提供者さんの力をお借りしながら、子育てを頑張るお父さんお母さんのお手伝いをしてきました。
提供者さんの笑顔。預かるお子さんだけじゃなくお母さんへの心遣い。いっぱいの優しさで迎えてくださいます。
小さいことでも何か困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。
また、年に数回、講習会を行っています。色々な分野の方から、子育てに活かせる様々なことを楽しく学べます。ご都合が合いましたら、ぜひ講習会にご参加ください。

緑陽サブリーダー 上村（うえむら） 真由（まゆ）

「子どもが好き！」という気持ちから、ファミサポ両方会員に登録し早くも8年が経とうとしています。これまで沢山のお子さんとの出会いがありました。
預かっていて一番うれしい瞬間は、お子さんの笑顔が見られた時です。泣き顔も怒った顔も全部が大切な子どもの姿ですが、やっぱり笑顔は特別。喜んでくれそうな事を考え、それで笑顔になってくれた時は嬉しくなります。
大切なお子さんを預かるので、講習会では、いざという時の対処法や子どもとの寄り添い方を学びます。その他にも会議や意見交換会で、保育の仕事に関わられてこられた方や子育て中のお母さんのお話を聴く機会があり、毎回勉強になっています。また、依頼者さんのために一生懸命な提供者さんの優しさに心が温かくなり、涙ぐんでしまうこともありました。
ファミサポでの人との繋がりはとても有難く尊いです。これからも繋がりを大切に活動させて頂けたらと思います。

西陵地区サブリーダー 遠藤（えんどう） 和江（かずえ）

西陵地区サブリーダーとしての活動は3年目になります。いつもありがとうございます。
子育て中は、自分の時間が取りにくかったり一人で悩みを抱え込んでしまう時もあります。
私自身、人に頼れずつい抱え込むタイプですが、活動を通して感じているのは、ファミサポは安心して頼っても大丈夫な場所だということです。
お子さんの成長を一緒に喜び、頼りになる人達が沢山いますので、安心してお声がけくださいね。

お子さんをギュッとしてあげて

～ある意見交換会の話題から～

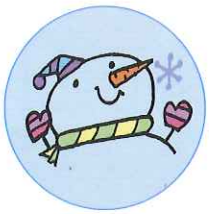
提供会員Ａさん

預かり活動が終わってお母さんが迎えに来ても、お子さんがなかなか帰りたがらない時があります。
お母さんも一生懸命「帰るよ」と声をかけたり、なだめたりしているのですが、お子さんはますます激しくイヤイヤをしたり、（提供者宅の）おもちゃを離さなかったりで、最後はむりやり連れて行ったりしています。
預かり中はご機嫌で遊んでいたのに帰る時になるとぐずり出すのはどうしてでしょうか。こういう時、皆さんどうしてますか。

預かり中は無邪気に遊んでいるようでも、お母さんと離れている時間はお子さんなりに頑張って過ごしているのかもしれないですね。
お母さんが迎えに来た瞬間、ホッとして甘えたくなるんでしょうね。大人から見たら、お母さんを困らせているようにしか感じないですが、お子さんは自分の頑張りを認めて欲しいんじゃないかなぁと思います。
そういう時、私は迎えに来たお母さんに「お子さんのことギュッとしてあげて」と声掛けしています。
そうすると、ぐずぐずしていたお子さんもスーッと落ち着いて、すんなり帰れる子が多いです。「お母さんと離れている間よく頑張ったね」と、ちょっと強めにハグすると効果的みたいですよ。

提供会員Ｂさん

☺☺☺☺☺（一同、「なるほど～」と納得と感嘆の声）☺☺☺☺☺



提供会員Ｃさん

今のお話を聞いて、私の子どもはもう成人していますが、小さい時にもっとギュッとしてあげれば良かったなぁと思いました。

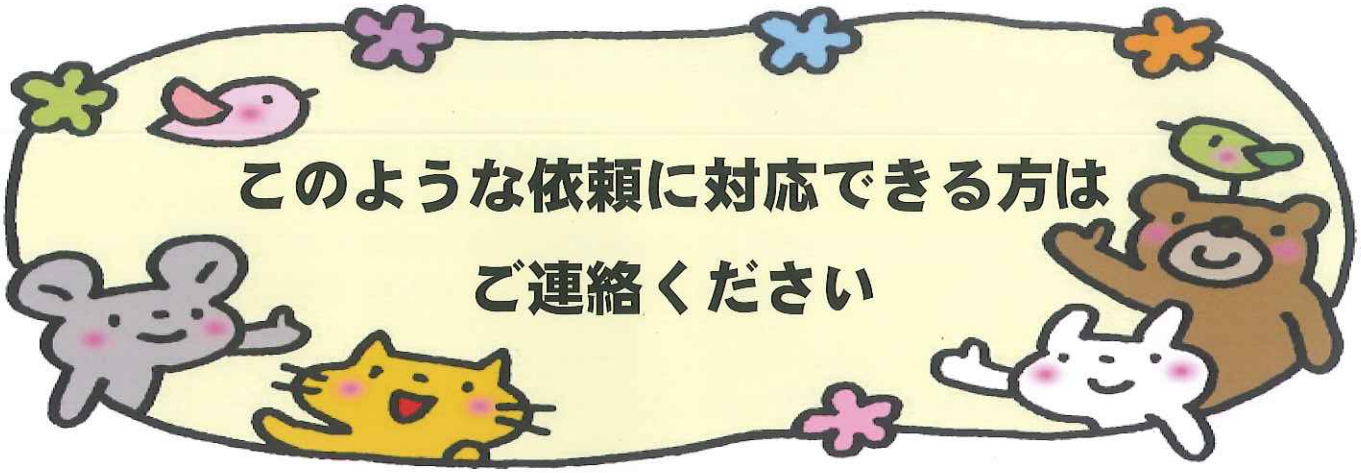
私の息子は小さい時とってもやんちゃでしたが、自分の子どもが生まれた途端にイクメンになり本当に変わりました。
子どもの時に多少手をわずらわせるような子でも、あまり心配しなくてもいいと思います。
今、子育て中のお父さん・お母さんには子育てを楽しんでほしいと思います。

提供会員Ｄさん

子育てしていると、うまくいかないことがたくさんあります。今はインターネットで検索すれば情報を得ることができますが、どれが正しい情報なのか、かえってわからなくなるという話もよく聞きます。

そんな中、実際にお子さんを預かったり、子育ての経験をされている方々のご意見はとても貴重で、そのアドバイスも説得力のあるものでした。こんな風にお子さんをあたたかく見守ってくださり、お父さんお母さんの子育てを応援するよ、という方々が地域にいることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

『お子さんをギュッとして』やさしい子育ての輪を広げていきたいですね。



このような依頼に対応できる方は ご連絡ください

～こんな依頼が増えています～

◎子どもが習い事を始めることになったけど、自分は仕事中で送迎はムリ。習い事の送迎お願いできますか？

◎保育所のお迎え時間に間に合わない。保育所に迎えに行って、その後１時間ほど預かってもらえますか？

子育ては周りの援助が必要です

ファミリーサポートセンターは会員同士が助けたり、助けられたりして育児の援助活動を行う組織（相互援助事業）です。

初めは助けられるばかりかもしれません。親だけで子育てはできないのですから、遠慮せずどんどん周りに頼っていいのです。

後々、お子さんも成長し、お気持ちや時間に余裕ができましたら、ほんの少しお力を貸して頂けませんか？

できる時に、できる事を少しずつのお手伝いで構いません。「この時間だけ」「この曜日だけ」の活動でも大変有難いです。

提供活動に興味のある方は、ぜひご連絡ください。

当ファミリーサポートセンターは、登別市に住むすべての親が安心して子育てできるように地域で見守り応援していきます。

会員数（2023年12月現在）

全会員数	1,363人
依頼会員	991人
提供会員	223人
両方会員	149人

住所や電話番号など、登録内容に変更があった場合はセンターまでお電話ください☆彡☆

登別市ファミリーサポートセンター　85－0033